

## 中央大学中長期事業構想

### Mission

「グローバルな視野と実地応用の力を備え、人類の福祉に貢献する人材の育成」

### Vision

「社会の期待に応え、人類の福祉に貢献する力を備えた人材を育成するための総合的な実学教育の拠点の形成」

「地球規模での複雑な諸問題の解決に寄与する専門的かつ学際的な研究の推進」

「特色ある教育研究に立脚した社会連携とヒューマンネットワーク拠点の形成」

「人類の未来を拓き、常に新たな社会的価値を創出する総合キャンパスの構築」

「本学の継続的な事業活動を支える揺るぎない経営基盤の確立」

### Vision を実現するための取り組み

#### 教育力

学修を支援するきめ細やかな体制を構築するとともに、実学をリードする教育改革を推進し、学生・生徒が未来を展望しながら主体的に学ぶことを促す。

#### 研究力

教育を支える力となる研究の基盤整備に努めるとともに、人類社会に貢献する研究の一層の高度化を促進する。

#### 社会貢献力

地域社会との多様な交流を通じて社会的連携の強化に努め、社会に対する学術、文化、スポーツ、ボランティアの各分野で社会貢献の責務を果たす。

#### 国際力

学生・生徒・教職員のダイバーシティ（多様性）とモビリティ（流動性）を促進し、グローバルなネットワークを構築し、本学の国際的プレゼンスを高める。

#### 総合学園力

附属の中学校、高等学校、および大学の学部、大学院ならびに各種研究機関との相互の多様な協力・連携を強化し、全体としてそれぞれの力を発揮することができる総合学園の価値を一層高める。

#### ブランド力

建学の精神、大学の理念・使命・教育目標の浸透と普及を図り、学術、文化、スポーツの各分野で、本学のブランド力を強化する。

#### キャンパス力

文化・景観・環境・アメニティを重視し、学生・生徒が躍動する、魅力あふれる総合キャンパスを展開する。

#### 経営力

ガバナンスの充実・強化、組織の改編による活性化、財務基盤の強化などを通じて、本学の経営力を高める。

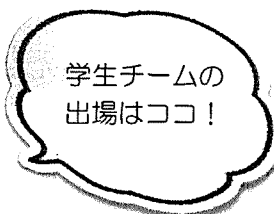
## 出場学生チーム《募集要項》

文部科学省「経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援（Go Global Japan）」採択大学（東日本第2ブロック・本学を含む全18大学）が主催する「グローバル人材育成フォーラム」第二部では、各大学から選抜された学生チームによる英語プレゼンテーション大会が企画されています。

第二部「学生による英語プレゼンテーション」に出場する学生チームを募集しますので、積極的にご応募ください。

### 1. グローバル人材育成フォーラムについて（予定）

開催日時	2015年11月21日（土） 13:00~17:00
会場	亜細亜大学 武蔵野キャンパス 3号館講堂
主催	文部科学省『経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援』東日本第2ブロック
共催	日本経済新聞社
対象	大学生、大学教職員、企業関係者、一般
開催内容	(1) 挨拶 主催幹事校/共催者/来賓/会場校 (2) 第一部 基調講演（講演者 調整中） (3) 第二部 学生による英語プレゼンテーション



### 2. 第二部 プレゼンテーション大会について《参加学生チーム募集》

上記『グローバル人材育成フォーラム』第二部に出場する学生チームを以下の通り募集します。奮ってご応募してください。

#### ■テーマ

### アジアそして世界の未来を創る『協働プロジェクト』

#### 【テーマ趣旨】

日本を含むアジア諸地域には、それぞれ歴史があり、社会があり、培われた知恵があります。日本の私たちと他のアジア諸地域の人が知恵を出し合い、経験を分かち合い、力を合わせて、よりよいアジアそして世界の未来を創る—そんなプロジェクトを考案し、実現できるのは次世代を担う大学生の皆さんです。政治・外交、産業・経済、自然環境、教育・人材育成、医療福祉、科学技術、芸術文化など様々な分野で「協働プロジェクト」のアイデアを編み出してください。（※各チームがテーマに基づく発表内容を決めます。）

#### ■発表方法

英語によるプレゼンテーション/パフォーマンス（10分間）

#### ■出場単位

チーム制（1チーム3~5名）

※学部生に限ります。

※外国人留学生はチーム構成人数の半数以下で参加可能です。

※規程に満たない人数でのエントリーを希望する場合は、エントリー時のテーマを元に混成チームを作ります。場合によっては参加いただけない可能性もありますので了承の上ご応募ください。

#### ■エントリー

#### エントリー方法

エントリーシート（様式A）に必要事項を記入し、国際センター（多摩）に提出。開室時間内に持参するか、Eメールに添付の上で提出してください。

**エントリー締切 7月24日（金）17時**

#### ■留意事項

次の留意事項を確認の上、ご応募ください。

- 1大学につき1チームの選出となります。複数チーム応募の場合は学内選考により出場チームを決定します。学内選考は10月10日（土）に実施を予定しています。
- イベント当日の出場チームは8チーム（8大学）に限られます。9大学以上の応募があった場合は一次審査による予選が行われます。
- イベント当日に配布されるプログラムには、出場チームの顔写真や氏名が掲載される予定です。
- プレゼンテーション終了後、審査委員により審査がおこなわれ、1~3位までの出場チームが表彰されます。

(5) プレゼンテーションの様子は、後日、朝日新聞の紙面において報道される他、イベント DVD として収録、製作されます。

■その他 応募～選出～本選までのスケジュールその他詳細については下記一覧を確認ください。

■エントリー/問合せ先

中央大学 国際センター (担当: 河本<sup>こうもと</sup>/草川<sup>くさがわ</sup>)

電話 042-674-2215 Email chuo-ggj@tamajs.chuo-u.ac.jp

【参考】 応募～選出～本選までの流れ

項目	スケジュール
⇒ 告知/エントリー受付開始	7月初旬
⇒ 説明会 ※各30分程度です。 多摩 7月 8日(水) / 14日(火) / 16日(木) 後楽園 7月 9日(木) / 15日(水)	15:00~ @Gスクエア 12:10~ @1226
⇒ エントリー締切 【提出物】 ●様式A エントリーシート	7月24日(金) 17時
--- 夏休み --- チームメンバーでリサーチ! プレゼンテーションの内容を決定し、学内コンペに備えてください。	
⇒ 詳細書類の提出 (注1) 【提出物】 ●様式B プレゼンテーション概要(日本語) ●様式C プレゼンテーション概要(英語) ●様式D プレゼンテーションの流れ	9月24日(木) 17時
⇒ 予備選考通過チームの発表 (応募多数の場合)	(9月29日(火))
⇒ 学内プレゼンテーションコンペ (代表選考会)	10月10日(土)
⇒ 本学代表に選ばれたチームは… 代表に決定したチームは、書類準備、本選応募に必要な動画作成等を進め、本選に応募します(10月中旬)。また、適宜プレゼンテーション指導/助言をおこないます。本選予選結果発表は10月末予定です。	
⇒ ホームカミングデー 特別イベントとして、10/10の学内コンペに出場した学生チームに、プレゼンテーションの機会を予定しています。	10月25日(日)
【本選出場決定後】	
⇒ 本選出場へ向けてのプレゼンテーション練習	適宜
⇒ イベント(本選)リハーサル (@亜細亜大学)	調整中
⇒ イベント(本選)当日 (@亜細亜大学)	11月21日(土)

※上記予定は変更される場合があります。

(注1) エントリーシート提出時から発表の内容を変更することも可とします。

以上

2015年9月1日

委員会調整会議出席者の皆様

年次支部協議会 学生支援委員会

## 2015年度 進捗状況

2015年5月30日に実施された年次支部協議会でお示したプランに則り、以下のよう  
な内容で現在調整中です。ご一読賜りますよう、お願い申し上げます。

記

### 1、実施背景：RG-PDCA

2014年度に策定した各種戦略を踏襲（ミッションとターゲットは変更せず）するが、昨今  
の売り手市場にも関わらずその恩恵を十分に享受できていない状況を鑑み、開催時期の早  
い学生団体主催の企画と今年度はコラボを行い、我々（年始支部協議会主催）の企画と連  
動性を持たせるのが望ましいと思料。

#### ➤ ミッション

- 学生支援委員会は、自身のキャリアを真剣に考えている学生のために、ロールモデルとなるような中央大学出身のOBOGあるいは中央大学に関わりのある社会人との交流機会を提供する。
- その機会（学生と社会人の接点）を通じて、学生があと一步で社会に自信をもって踏み出せる、自身のキャリア選択に寄与する支援とする。

#### ➤ ターゲット

- 今ある姿を認識し、また、あるべき姿を他者（学生/社会人）との対話を通して自覚できる学生
- あるべき姿に近づくために粘り強く努力する行動力（実現力）のある学生

### 2、目標：RG-PDCA

目標も変更せず、以下のとおり

- 学生は他者（学生/社会人）との対話を通して価値観の多様性を認識し、キャリア選択の自走化に繋げる。
- 学生支援委員会は、自ら切り開くキャリアに自信をもち、社会へはばたく学生を輩出する支援を行う。

### 3、目標達成に向けた施策（案）：RG-PDCA

2014年度の総括より、実施時期を2013年度以前に戻す。

#### ➤ 1-1.進路選択支援企画（案）

日程：2015年11月14日（土）（多摩校舎）

主催：CANVAS+主催の進路相談会

規模：社会人（協力者）5人×就職活動生100人規模

形式：進路相談会（主に20代前半）

➤ 1-2.外国人（留学生）向け相談会（案）

日程：2015年11月14日（土）（多摩校舎）

主催：年次支部協議会 学生支援委員会

規模：外国人（留学経験）社会人（協力者）2～3人×留学生20人規模

形式：①オリエンテーション

②進路相談会

➤ 2.進路選択支援企画（案）

日程：2015年12月12日（土）前後（多摩校舎）

主催：年次支部協議会 学生支援委員会

規模：社会人（協力者）20人×就職活動生200人規模

備考：大学が掲げている標語（Go Global）に鑑み、グローバル（Top層）経験に興味関心を喚起することに今年度はトライ、一部協力社会人の職歴を確認

形式：①進路相談会（主に20代後半から30代）

②南甲倶楽部とのコラボ：中央大学OB/OGによる基調講演

4、進捗状況：RG-PDCA

➤ 関係先（キャリアセンター・国際センター）との協議は、9/17（木）に実施予定



➤ 南甲倶楽部とは9月以降接触開始

➤ 社会人アタックリストを整備、作成

以上

平成27年9月1日

中央大学学会年次支部協議会  
学会交流委員会

2015支部結成に伴い各年次の支部長・幹事長等との交流懇談会について

中央大学学会2015支部結成の行事が、ホームカミングディの日に行われます。

当日行われる会合に2015支部と各年次支部の支部長・幹事長等との交流懇談会の場（特に若手年次層との交流を図る場にする。）にしたいので、下記のとおり開催するものであります。

記

- 1 開催日時 平成27年10月25日（日）12時00分～14時00分
- 2 場 所 中央大学食堂4階（場所は、確定していない。）
- 3 会 費 各年次支部の支部長・幹事長等は、5,000円

## 年次支部協議会会報4号 企画 (学会会会員向け)

### 1頁 (表紙)

タイトル：創立130周年記念ホームカミングデー開催に向けて

写真：

巻頭言：ホームカミングデー実行委員長？

### 2～3頁

- ・ ホームカミングデーに関するご案内とお知らせ
- ・ クレセントホールでの開会式、年次支部からの出店案内
- ・ 新卒年次支部(2015卒)設立に向けて
- ・ 平成OBへの呼びかけ(襷を繋ぐイベント)開催案内(平成2年山本氏)
- ・ 新規会員募集
- ・ 年次支部協議会委員会活動報告

### 4頁 グローバルな中央大学を目指して

- ・ 海外支部便り(ロンドン在住の さんから見た中央大学)
- ・ 海外支部合同交流会開催報告(5月 日)  
モンゴル支部として参加された東谷さんの報告
- ・ 国際寮紹介記事

### 5頁 学員便り

- ・ 57ネット支部主催 <落語会>～報告と写真
- ・ 40年代
- ・ 30年代

### 6頁 活躍する中大生、OBの紹介

- ・  
音楽研究会混声合唱団
- ・
- ・

### 7頁 中央大学著名人シリーズ(今回は実業界編)

今回：

### 8頁 活躍中の個人、サークル等のご紹介

今後の予定、編集後記

## 年次支部学員交流委員会 平成27年度事業計画

### 1、 事業の目的

- ① 年次支部の世代を越えた学員同士の情報交換・親睦・交流を図る
- ② 2016年度新卒支部、若手年代支部、現役学生等への交流会を通じて卒業後の支援・サポート体制作りを構築する
- ③ 中堅年代支部（昭和50年代～平成元年）との交流懇談会の開催により、各世代間の理解を深め連携を図る

### 2、 今年度の事業概要

《変更箇所あり》

- ① **削除**＜野球部選手達への激励会を開催予定（スポーツ応援団委員会と連携予定）  
時期 未定 場所 駿河台記念館  
参加費 5000円程度 参加人数 未定  
野球応援観戦後、慰労会などの企画有＞

↓

**変更**＜スポーツ応援委員会と協力して、秋季リーグ野球応援、箱根駅伝応援等に参加し呼び掛けを行う＞

- ② ホームカミングデー（10月25日開催予定）時の2015新支部設立に向けて、支援協力体制を整える
- ③ 2016年度新卒支部の設立準備への支援・協力（例：卒業パーティの開催等の協力）
- ④ 若手支部・中堅支部会員との交流会を開催し、世代間の理解と親睦を深める（日帰りバスツアーなどの企画も考慮中）
- ⑤ 解散支部（昭和26年会）へのサポート協力（イベントなどのご案内等）
- ⑥ 各支部への交流行事のご案内

### 3、 事業予算 50000円

内容 ・中堅支部・若手支部会員との交流懇親会開催



## 年次支部役員等出席者名簿

(平成27年9月1日)

役 職 名	氏 名	出欠状況
年次支部協議会代表幹事	松木 茂夫	出 席
年次支部協議会副代表幹事 (総括・大学支援)	堀合 辰夫	出 席
年次支部協議会副代表幹事 (総括・大学支援)	青山 和夫	欠 席
年次支部協議会副代表幹事 (事務局)	小竹 正倫	出 席
年次支部協議会副代表幹事 (学生支援)	佐々木幸男	欠 席
年次支部協議会副代表幹事 (学生支援)	鈴木 康二	欠 席
年次支部協議会副代表幹事 (広報・事務局)	佐藤 愛子	出 席
年次支部協議会副代表幹事 (学員交流)	山井 俊昭	欠 席
年次支部協議会副代表幹事 (ホームカミング)	掛水 省三	出 席
年次支部協議会副代表幹事 (学員交流)	乗兼 浩朗	
年次支部協議会副代表幹事 (IT推進)	小川 学	出 席
年次支部協議会事務局長	山城 博光	出 席
年次支部協議会事務局次長	野田 明利	欠 席
年次支部協議会事務局次長	山本 卓	出 席
年次支部協議会会計監事	平岩 弘邦	出 席
年次支部協議会会計監査	才野 智裕	出 席
年次支部協議会広報部長	佐藤 愛子	(出 席)
年次支部協議会広報副部長	小暮 睦美	欠 席
年次支部協議会学員交流委員長	———	———
年次支部協議会学員交流副委員長	佐藤 愛子	(出 席)
年次支部協議会IT推進委員長	小川 学	(出 席)
年次支部協議会学生支援委員長	秋山 豊	
年次支部協議会学生支援副委員長	久保 良太	出 席
年次支部協議会大学支援委員長	小田 眞一	調整中
年次支部協議会スポーツ応援団委員長	高橋 丈雄	出 席